



2024年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月14日

上場会社名 株式会社 ケアネット 上場取引所 東
コード番号 2150 URL <https://www.carenet.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 勝博
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CF0 (氏名) 藤井 寛治 TEL 03-5214-5800
四半期報告書提出予定日 2024年5月14日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第1四半期の連結業績（2024年1月1日～2024年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	2,667	5.6	545	△23.7	563	△21.2	310	△32.1
2023年12月期第1四半期	2,526	13.7	715	△14.7	715	△14.7	457	△18.0

(注) 包括利益 2024年12月期第1四半期 354百万円 (△21.6%) 2023年12月期第1四半期 452百万円 (7.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	6.98	—
2023年12月期第1四半期	10.27	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期第1四半期	13,505	11,201	81.7	247.65
2023年12月期	14,168	11,501	79.3	252.23

(参考) 自己資本 2024年12月期第1四半期 11,033百万円 2023年12月期 11,237百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2024年12月期	—	—	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	0.00	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,600	13.3	2,200	△9.4	2,200	△10.8	1,500	△0.7	33.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期1Q	46,872,000株	2023年12月期	46,872,000株
② 期末自己株式数	2024年12月期1Q	2,320,702株	2023年12月期	2,320,702株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年12月期1Q	44,551,298株	2023年12月期1Q	44,564,298株

(注) 「株式給付信託 (BBT)」及び「株式給付信託 (J-ESOP)」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、作成日現在において入手可能な情報に基づいて算定しております。今後の経済状況等の変化により、実際の業績は異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染法上の分類が変更されたことにより社会経済活動が本格化し、景気はゆるやかに回復の兆しを見せております。一方、国際情勢の緊迫化による地政学的リスクの高まりや、円安による物価上昇・原材料価格の高騰、世界的な金融引き締めに伴う影響には十分に注意する必要があります。

当社グループの主要顧客が属する製薬業界においては、大型薬剤の特許切れや薬価制度の変更、ジェネリック医薬品の使用促進などに直面し、製薬企業の営業環境は、依然として厳しい状況が続いております。そのため、製薬企業は、新薬の研究開発や営業・適正普及活動において、さらなる生産性向上を求めています。また、上市される新薬の中心が、スペシャリティ医薬品になるなかで、製薬企業はスペシャリティ医薬品に合った新たな適正普及支援を必要としております。

なお、製薬企業のMRの削減が一層進む状況にあつて、当社グループの医薬DX事業の各種サービスに対する製薬企業からのニーズの高まりが続いていることにより、当社グループの受注は引き続き増加いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間においては、売上高2,667百万円（前年同四半期比5.6%増）、売上総利益1,580百万円（前年同四半期比0.8%減）となりました。一方で、当期は、事業拡大のための先行投資の一環として、従業員の積極的な新規採用を進める方針とし、人件費を中心とした販管費を増やす計画としておりますが、その計画に基づき、販管費が前年同四半期比で上回り、それに伴い営業利益545百万円（前年同四半期比23.7%減）、経常利益563百万円（前年同四半期比21.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は310百万円（前年同四半期比32.1%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。報告セグメントの区分変更について、詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等) (2) 報告セグメントの変更等に関する事項」に記載のとおりであります。

①医薬DX事業

当事業においては、既存サービスの販売体制強化などの取り組みを進めるなか、医薬DX事業の売上高は2,403百万円（前年同四半期比4.5%増）、営業利益は945百万円（前年同四半期比4.0%減）となりました。

②メディカルプラットフォーム事業

当事業においては、医師向け転職支援サービス「キャリア」等の売上高は114百万円（前年同四半期比15.2%減）となりました。一方、医療教育動画及びその他サービスについては、株式会社メディカルクリエイトの新規連結に伴い、売上高は150百万円（前年四半期比63.9%増）と大幅な増加となりました。

この結果、メディカルプラットフォーム事業の売上高は265百万円（前年同四半期比17.1%増）、営業利益は22百万円（前年同四半期比65.4%減）となりました。

また、医師・医療従事者向け医療専門サイト「ケアネット・ドットコム (CareNet.com)」においては、医師会員獲得及び維持を目的に、前期に引き続き積極的に投資を行っております。これにより、当第1四半期連結会計期間末の医師会員数は22万6千人（前年同四半期比6.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ663百万円減少の13,505百万円となりました。

流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ1,123百万円減少の10,642百万円となりました。これは主に、現金及び預金880百万円、売掛金及び契約資産115百万円の減少によるものであります。

また、固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ460百万円増加の2,862百万円となりました。これは主に、投資その他の資産591百万円の増加、のれん151百万円の減少によるものであります。

②負債

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ363百万円減少の2,303百万円となりました。

流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べ361百万円減少の2,087百万円となりました。これは主に、未払法人税等247百万円の減少によるものであります。

また、固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べ2百万円減少の216百万円となりました。

③純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ299百万円減少の11,201百万円となりました。これは主に、利益剰余金228百万円の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の連結業績予想につきましては、概ね予想通りに推移しており、2024年2月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,857,120	7,976,989
売掛金及び契約資産	2,177,913	2,062,112
電子記録債権	308,408	210,732
棚卸資産	34,112	33,564
前払費用	222,540	227,215
その他	171,812	137,509
貸倒引当金	△5,656	△5,656
流動資産合計	11,766,250	10,642,467
固定資産		
有形固定資産	214,647	203,349
無形固定資産		
のれん	1,099,107	947,889
その他	37,174	68,551
無形固定資産合計	1,136,281	1,016,441
投資その他の資産	1,051,602	1,643,175
固定資産合計	2,402,531	2,862,966
資産合計	14,168,782	13,505,434
負債の部		
流動負債		
買掛金	179,364	146,078
1年内返済予定の長期借入金	26,330	24,290
未払法人税等	411,542	164,200
前受金	60,570	73,572
賞与引当金	8,456	12,685
ポイント引当金	943,444	935,225
その他	818,676	731,051
流動負債合計	2,448,385	2,087,102
固定負債		
長期借入金	71,092	66,238
退職給付に係る負債	15,027	16,529
資産除去債務	51,797	51,820
役員株式給付引当金	59,598	65,016
従業員株式給付引当金	8,265	—
その他	13,100	17,005
固定負債合計	218,879	216,609
負債合計	2,667,265	2,303,712
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,405,636	2,405,636
資本剰余金	3,073,797	3,073,797
利益剰余金	6,486,661	6,258,272
自己株式	△700,753	△700,753
株主資本合計	11,265,340	11,036,952
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△28,292	△3,775
その他の包括利益累計額合計	△28,292	△3,775
新株予約権	0	0
非支配株主持分	264,467	168,543
純資産合計	11,501,516	11,201,721
負債純資産合計	14,168,782	13,505,434

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
売上高	2,526,715	2,667,149
売上原価	934,253	1,087,003
売上総利益	1,592,461	1,580,145
販売費及び一般管理費	877,401	1,034,894
営業利益	715,060	545,251
営業外収益		
受取利息	588	1,213
持分法による投資利益	—	11,055
為替差益	194	8,442
雑収入	1,202	713
営業外収益合計	1,984	21,423
営業外費用		
支払利息	261	161
株式交付費	0	—
投資事業組合運用損	95	83
消費税差額等	—	2,211
雑損失	994	591
営業外費用合計	1,352	3,047
経常利益	715,693	563,627
特別損失		
投資有価証券評価損	—	48,018
特別損失合計	—	48,018
税金等調整前四半期純利益	715,693	515,608
法人税、住民税及び事業税	221,113	148,458
法人税等調整額	30,497	36,731
法人税等合計	251,610	185,190
四半期純利益	464,082	330,418
非支配株主に帰属する四半期純利益	6,389	19,583
親会社株主に帰属する四半期純利益	457,693	310,835

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	464,082	330,418
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,188	24,516
その他の包括利益合計	△11,188	24,516
四半期包括利益	452,894	354,935
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	446,504	335,351
非支配株主に係る四半期包括利益	6,389	19,583

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬DX事業	メディカル プラット フォーム事業	計		
売上高					
外部顧客への 売上高	2,299,660	227,054	2,526,715	—	2,526,715
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,299,660	227,054	2,526,715	—	2,526,715
セグメント利益	985,033	65,690	1,050,723	△335,663	715,060

(注) 1. セグメント利益の調整額△335,663千円は、セグメント間取引消去8,135千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用(報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費)△343,798千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医薬DX事業	メディカル プラット フォーム事業	計		
売上高					
外部顧客への 売上高	2,401,748	265,400	2,667,149	—	2,667,149
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,400	500	1,900	△1,900	—
計	2,403,148	265,900	2,669,049	△1,900	2,667,149
セグメント利益	945,623	22,701	968,325	△423,074	545,251

(注) 1. セグメント利益の調整額△423,074千円は各報告セグメントに配分していない全社費用 (報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費) であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(2) 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間において、医薬品データを軸とした事業戦略上の重要性の観点から、DALI株式会社を「メディカルプラットフォーム事業」から「医薬DX事業」へ変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分により作成したものを開示しております。

(重要な後発事象)

(取得による企業結合)

当社は、2024年4月24日開催の取締役会において、Satt株式会社の株式を取得し、子会社化することについて決議し、2024年5月9日付で株式譲渡契約の締結及び株式を取得しました。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称：Satt株式会社

事業の内容：

- ①臨床研究支援
- ②CRA、データマネジメント担当者、CRC等の派遣

(2) 企業結合を行った主な理由

当社は、スペシャリティ医薬品のプロモーション支援サービスにおける安定成長のための基盤づくりを進めております。製薬企業を支援するCRO分野においては、オンコロジー領域を中心とした専門性の高い医薬品や難易度の高い国際共同治験を支援する企業であるクレイス株式会社を、2022年12月22日付で全株を取得し子会社化しました。スペシャリティ医薬品分野における今後の成長をさらに加速すべく、臨床研究支援事業における幅広い専門知識と経験を持つ人材を有するSatt株式会社を子会社化することを双方合意しました。

Satt株式会社との事業連携により、モニター人員の増強及びデータマネジメント業務等の内製化を推進し、開発支援体制の強化を図るものであります。

(3) 企業結合日

2024年6月30日（みなし取得日）

(4) 企業結合の法的形式

株式取得

(5) 結合後の企業の名称

Satt株式会社

(6) 取得した議決権比率

100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものです。

2. 取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	190,000千円
取得原価		190,000千円

3. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザーに対する報酬・手数料等 29,500千円（見込み）

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

5. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。